

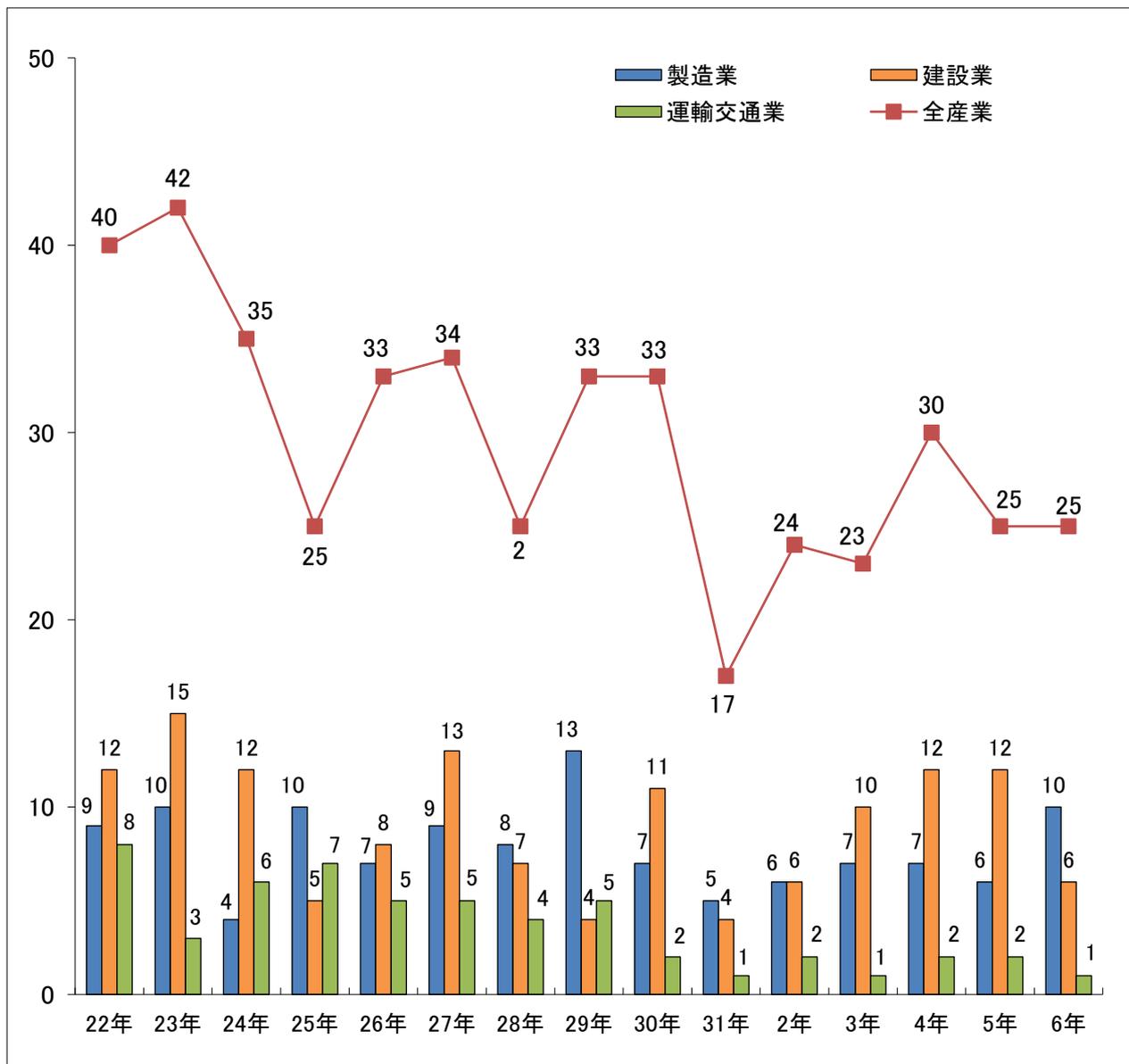
I 令和6年 労働災害の発生状況

1～6まで全て新型コロナウイルス感染症によるものを除いた件数

1 死亡災害の現状

(1) 年別推移

令和6年の静岡県内の労働災害による死亡者数は25人であり、前年と同数であった。

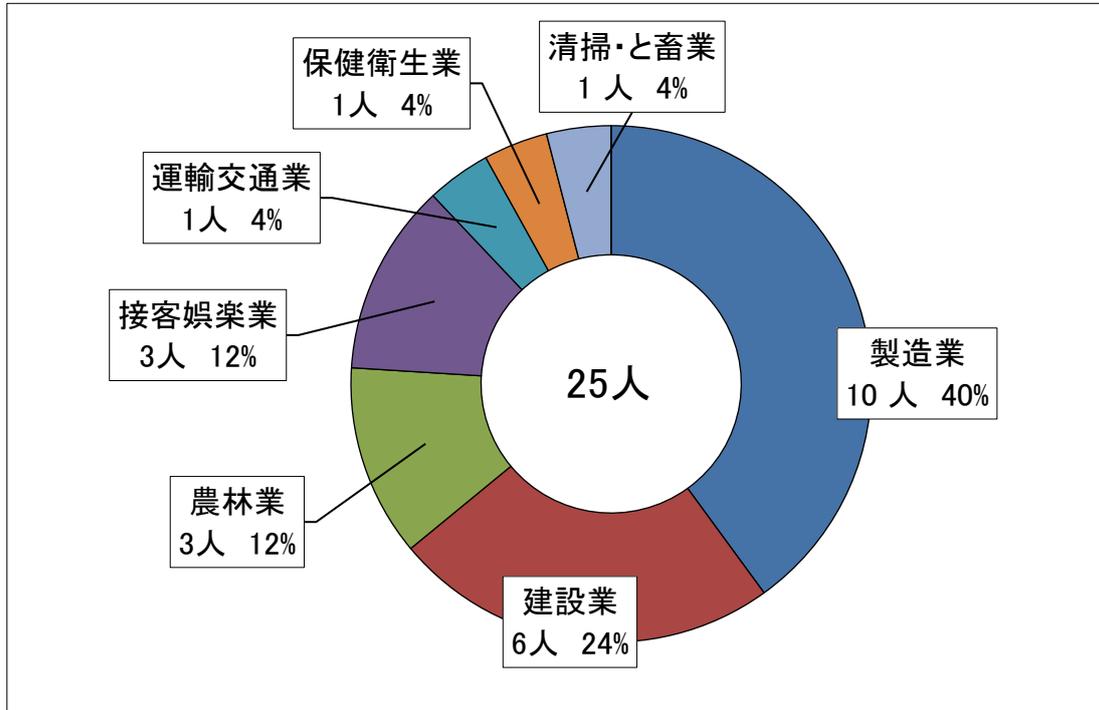


	47年	48年	49年	50年	51年	52年	53年	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年	62年	63年	元年	2年
全産業	149	170	111	123	109	122	109	99	99	80	79	103	84	68	73	64	81	75	71
製造業	41	43	33	32	23	28	26	31	23	19	20	25	23	23	13	20	16	19	16
建設業	57	70	41	46	44	40	53	34	37	33	27	39	34	26	33	23	26	30	28
運輸交通業	21	18	13	17	15	22	9	18	14	10	9	9	15	9	11	10	13	8	12

	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
全産業	82	81	79	67	74	71	70	71	65	73	49	61	56	60	52	52	48	49	31
製造業	23	20	10	13	23	16	19	6	16	25	13	8	15	12	9	12	8	14	9
建設業	29	27	34	21	24	23	27	27	20	17	16	21	18	18	10	20	18	20	12
運輸交通業	10	11	18	13	18	13	9	10	11	16	7	14	9	11	11	2	6	4	5

(2) 業種別の死亡災害発生状況

業種別では、「製造業」が40%と最も多く、次いで「建設業」が24%で、総件数の64%を占めている。



(3) 事故の型・起因物別の死亡災害発生状況

- ① 事故の型別では、「はさまれ・巻き込まれ」が32%と最も多く、次いで「墜落・転落」が24%となっており、総件数の56%を占めている。
- ② 起因物別では、「仮設・建築・構築物等」が16%と最も多く、次いで「動力運搬機」「用具」「環境等」がそれぞれ12%となっている。

